授業科目　相談援助実習指導 II

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
松山　茂樹	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

本授業は、３年時前期で行う「相談援助実習 III」の事前学習として位置付け、配属実習が円滑かつ有効に行われることを意図としている。概要としては、相談援助実習指導Ⅰを踏まえて、配属先の実習分野等についての基本的知識を習得するとともに、担当教員及び施設等の実習指導者との協議の下、適正な実習計画を策定し、併せて実習ノート等の適正な記録方法等について理解を深めることとする。授業は原則として実習分野別のグループ学習とし、必要に応じて全体学習の機会を設けるものとする。

【学習目標・行動目標：SBO】

１．相談援助実習の意義及び目的を理解する。
２．配属される実習分野について理解を深める。
３．実習先で必要とされる専門的援助技術について十分理解する。
４．担当教員及び実習指導者との協議により実習計画を作成する。
５．実習期間中の留意事項について十分理解する。
６．配属先の実習指導者から事前オリエンテーションを受け準備等を確実に行う。（グループ学習を活用して実施する）
７．実習後に行う相談援助実習指導 III の概要を理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス（授業の進め方、内容と方法、留意事項等）		講義
2	グループ学習１		実習分野別に分かれて実施
3	グループ学習２		実習分野別に分かれて実施
4	グループ学習３		実習分野別に分かれて実施
5	グループ学習４		実習分野別に分かれて実施
6	グループ学習５		実習分野別に分かれて実施
7	グループ学習６		実習分野別に分かれて実施
8	グループ学習７		実習分野別に分かれて実施
9	グループ学習８		実習分野別に分かれて実施
10	グループ学習９		実習分野別に分かれて実施
11	グループ学習 10		実習分野別に分かれて実施
12	グループ学習 11		実習分野別に分かれて実施
13	巡回指導について		実習分野別に分かれて実施
14	全体学習（相談援助実習と相談援助実習 III について）		講義
15	まとめ		講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書	五訂　社会福祉実習		中央法規	
その他の資料	現場実習の手引き	新潟医療福祉大学		

【評価方法】

出席状況、レポート等で評価

【履修上の留意点】

３年前期で行う「相談援助実習 III」の履修には、本授業及び相談援助実習指導Ⅰの履修が前提となるものであること。